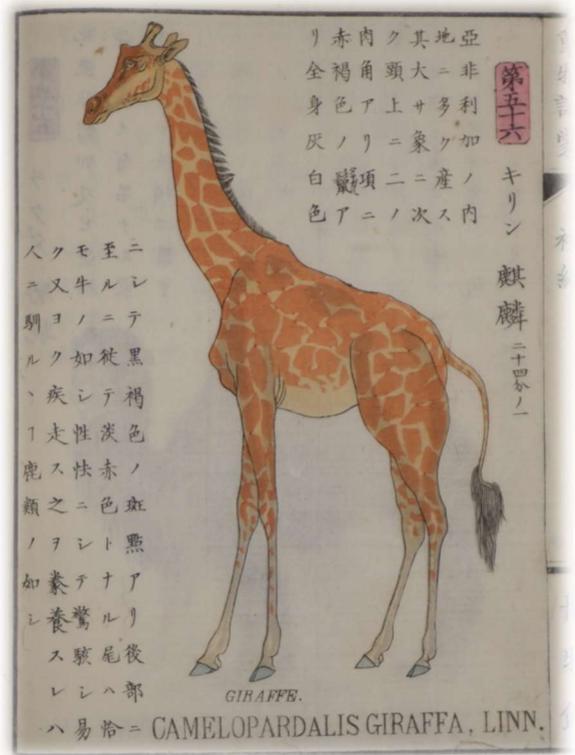




Since 1877

令和5年度
第2回
貴重資料展示

挿図から見る 学習院大学図書館所蔵資料



『動物訓蒙，初編』より

学習院大学図書館

はじめに

「挿図から見る学習院大学図書館所蔵資料」

挿図とは、図書や雑誌などの文書中に添えられた絵画のことであり、挿絵やイラストレーション（イラスト）などとも呼ばれています。現代では、多くの図書や雑誌に魅力的な挿図が添えられて読者の興味をひいています。小説の挿図は物語の世界を広げる役割を担い、図鑑の色鮮やかな挿図は文書だけでは理解が難しい動植物の姿や色彩などを正しく理解する役割を担っています。

今回の展示資料3点は、1830年代（江戸時代後期）から1870年代（明治時代初期）までに刊行された図書です。いずれも150年以上経っていますが、2点は彩色が施された魚と動物の色鮮やかな挿図を今でもはっきりと確認することができます。また彩色されてはいませんが、丁寧に描かれた植物の挿図も確認できますので、今回の展示資料は挿図に注目してご覧いただくと幸いです。



2027年 学習院は創立150周年を迎えます

○ 『魚鑑』

展示資料名：魚鑑（うおかがみ）

記載著者名：武井／周作 著

巻数：2巻（上下）

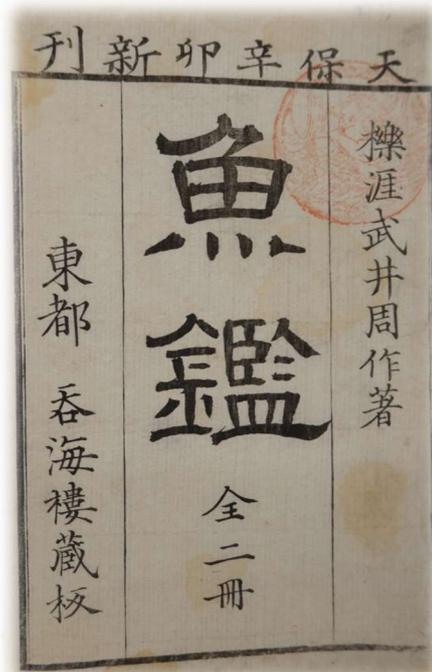
出版事項：呑海樓〈東都〉，天保2年（1831）

形態：21.2 × 15.4 cm

冊数：2冊



『魚鑑』は、1831（天保2）年に武井周作によって書かれました。武井は江戸時代後期の医師、本草家です。桂川甫周（1751-1809）と吉田長淑（1779-1824）に師事し西洋医学を学びました。1819（文政2）年に『医家人名録』（共編）を、天保2年には『魚鑑』上下巻を刊行しました。『魚鑑』は医師のための本ではなく、一般向けの魚についての生活実用書です。「いろは」順に魚を分けた上、産地・形態・生態・料理法などが記されている他、当時の魚に関する具体的な記述が多く見られます。『魚鑑』は天保2年の刊行以来、明治維新を挟み1885（明治18）年まで引き続き刊行されました。



見返し

○ 『植学略解』

展示資料名：植学略解（しよくがく りゃっかい）

著者名：伊藤謙

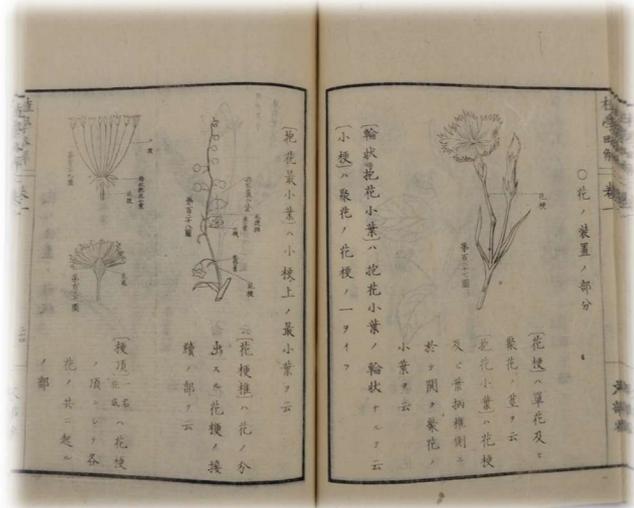
出版事項：[東京]：文部省

出版事項：[出版地不明]：出雲寺萬次郎（発兌），明治7年（1874）

形態情報：55丁；23cm

冊数：1冊

著者名は題言による



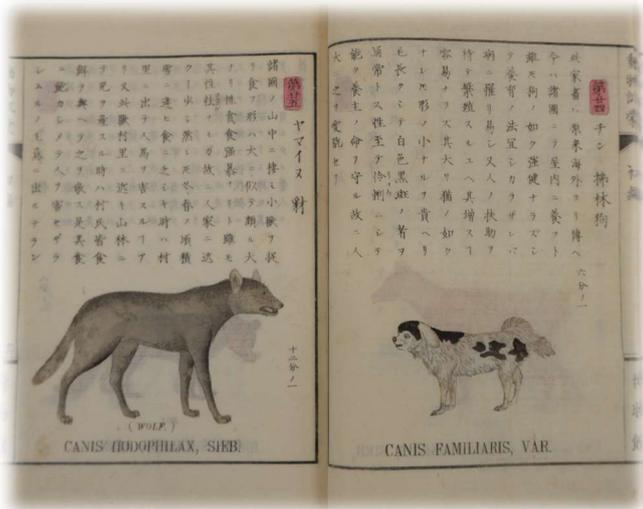
『植学略解』は、1874（明治7）年に伊藤謙の翻訳によって文部省より刊行されました。謙は幕末から明治時代にかけての博物学者、蘭方医であった伊藤圭介の三男として1851（嘉永4）年に生まれました。父の圭介は長崎においてシーボルトよりツンベルク著の『日本植物誌』Flora Japonicaを与えられ、以後、医業のかたわらこの書の研究に励みました。『植学略解』の原本については、目録の項の立て方や、図解の図が殆ど同じであることから Eliza A. Youmans の『The first book of botany』（1872）であることが研究によって指摘されています。なお、刊行年は異なりますが『The first book of botany』も当館は所蔵しています。



表紙

○ 『動物訓蒙，初編』

展示資料名：動物訓蒙（どうぶつ くんもう）
著者名：田中芳男選；久保弘道校；中島仰山画
出版事項：[東京]：博物館，明治8年（1875）
形態情報：43丁；23cm
冊数：1冊



『動物訓蒙』は、1875（明治8）年に田中芳男の選によって刊行されました。田中は幕末から明治時代に活躍した博物学者です。1856（安政3）年に伊藤圭介に師事して医学・博物学を学び、明治時代には、東京上野の博物館や動物園の設立に力を尽くしました。本書は、中島仰山による総計82図の彩色画が収録されており、国内外における80種類の動物について、形状・行動・産地や関連する知識なども解説しています。序文において田中は、自身の翻訳により1874（明治7）年に刊行された『動物学 初編 哺乳類』上下巻と併せて読むように勧めています。なお『動物学』も当館は所蔵しています。



表紙

おわりに

学習院大学デジタルライブラリーでは、本日展示した資料以外の貴重書をオンラインで閲覧できます。

■ 学習院大学デジタルライブラリー

<https://glim-op.glim.gakushuin.ac.jp/>



< 参考文献 >

『魚鑑』

- 1) “武井周作”, 日本人名大辞典. Kodansha, <https://japanknowledge.com/library/>, (参照 2023-10-20)
- 2) 平田満. “解説”. 魚鑑. 東京, 八坂書房, 1978, p. 147-167, (生活の古典双書, 18) .
- 3) 国書データベース (国文学研究資料館) <https://kokusho.nijl.ac.jp/?ln=ja>.

『植学略解』

- 1) “伊藤圭介”, 日本大百科全書 (ニッポニカ). SHOGAKUKAN, <https://japanknowledge.com/library/>, (参照 2023-10-20)
- 2) “伊藤圭介”, 国史大辞典. Yoshikawa Kobunkan, <https://japanknowledge.com/library/>, (参照 2023-10-20)
- 3) 佐藤達策. 伊藤謙著『植学略解』の内容の検討. 一般教育紀要. 2001, no. 27, p. 59-66.

『動物訓蒙』

- 1) “田中芳男”, 国史大辞典. Yoshikawa Kobunkan, <https://japanknowledge.com/library/>, (参照 2023-10-20)
- 2) “田中芳男”, 世界大百科事典. Heibonsha, <https://japanknowledge.com/library/>, (参照 2023-10-20)
- 3) 東京大学附属図書館所蔵資料展示委員会. 3 動物. 江戸いきもの彩々 : 総合図書館貴重書展 : 平成 23 年度東京大学附属図書館特別展示 : 展示資料目録. 2011, p. 22-32. <https://repository.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/records/43064>, (参照 2023-10-20) .

「所蔵貴重資料展示 挿図から見る学習院大学図書館所蔵資料」

発行日：令和 5 年 11 月 10 日

発行者：学習院大学図書館



2027 年 学習院は創立 150 周年を迎えます